

AISIN ADVICS JTEKT DENSO

アイシン精機株式会社、株式会社アドヴィックス、株式会社ジェイテクト、株式会社デンソー

**自動運転向け統合ECUソフト開発の
合併会社の設立検討について**

アイシン精機株式会社、株式会社デンソー

**電動化向け駆動モジュール開発・販売の
合併会社の設立検討について**

アイシン精機株式会社
株式会社アドヴィックス
株式会社ジェイテクト
株式会社デンソー

2018年8月27日

AISIN **ADVICS** **JTEKT** **DENSO**

出席者

アイシン精機株式会社	取締役社長	伊勢清貴
株式会社アドヴィックス	取締役社長	大竹哲也
株式会社ジェイテクト	取締役社長	安形哲夫
株式会社デンソー	取締役社長	有馬浩二

本日の内容

1. 今回の連携の背景
2. 統合ECUソフト開発の合併会社
3. 駆動モジュールの開発・販売の合併会社
4. 質疑応答
5. 写真撮影

今回の連携の背景

■ 環境変化

100年に一度の大変革時代
猛烈なスピードと異業種も含めた競争激化

勝ち負けでなく

生きるか死ぬか

■ 4社の総力結集



**自動運転・電動化の普及で
未来のモビリティ社会の創造に貢献**

まずはじめに、今回の連携の背景について、ご説明させていただきます。

自動車業界は、自動運転、電動化、コネクティッドという、100年に一度という大変革時代の真っ只中にあります。

取り巻く環境は、すさまじいスピードで変化しており、異業種も含め、闘う相手も大きく変わっています。目の前の競合である、欧州系メガサプライヤーのみならず、ITジャイアントなどの新たなプレーヤーも、これまでにない闘い方とスピードで、ゲームチェンジを仕掛けてきています。

私たちはまさに、「勝つか負けるか」ではなく、「生きるか死ぬか」という待たなしの状況にいます。

自動車メーカーは、モビリティカンパニーへの変革に踏み出しています。

私たち部品メーカーも、これまでの領域から踏み出し、「スピード&オープン」の姿勢で、今までにない製品・技術を生み出し、広く仲間を増やしていくことが重要です。

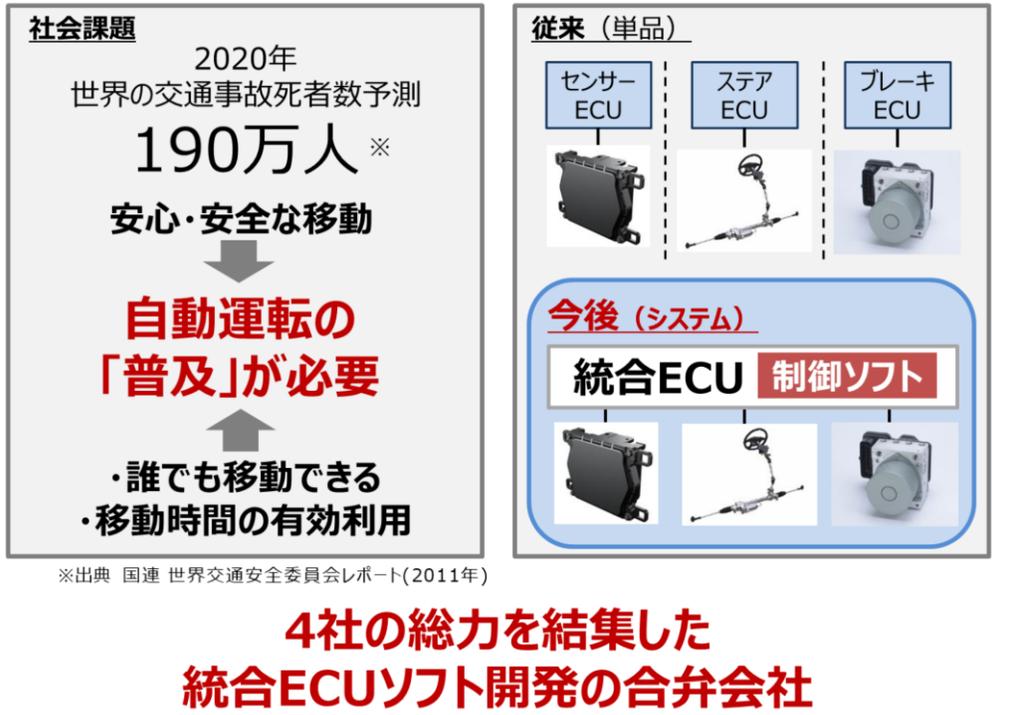
先日、当社とトヨタ自動車は、トヨタグループの「ホーム&アウェイ」の考え方に基づいて、電子部品の当社への集約に合意しましたが、サプライヤー同士でも同様に、内向きではなく、外と闘っていく体制を整えなければならない時だと思っています。

そこで今回、私たち4社が、自律的に総力を結集し、新たな一步を踏み出すことを決断しました。

これは、4社の強みやノウハウを持ち寄り、言わば、新たな「ホーム」をつくらうという取り組みです。

自動運転の実現と電動化の加速につながる製品や技術をより多くのお客様に届けることで、「普及」につなげ、未来のモビリティ社会の創造に貢献していきたいと考えています。

自動運転の課題



次に、統合ECUソフトウェア開発の合併会社について、ご説明させていただきます。

本日、アイシン精機株式会社、株式会社アドヴィックス、株式会社ジェイテクト、株式会社デンソーは、統合ECUソフトウェア開発の合併会社設立に向けた検討を進めることに、合意しました。

大変残念なことです。交通事故によって、いまだ多くの命が失われています。

ものや人を運ぶことは、「命を預かる」ことであり、その責任を果たすことが、私たちの使命であると考えています。

また、誰でも移動できる、移動時間が有効に利用できる、といった新たなクルマの価値が期待されています。

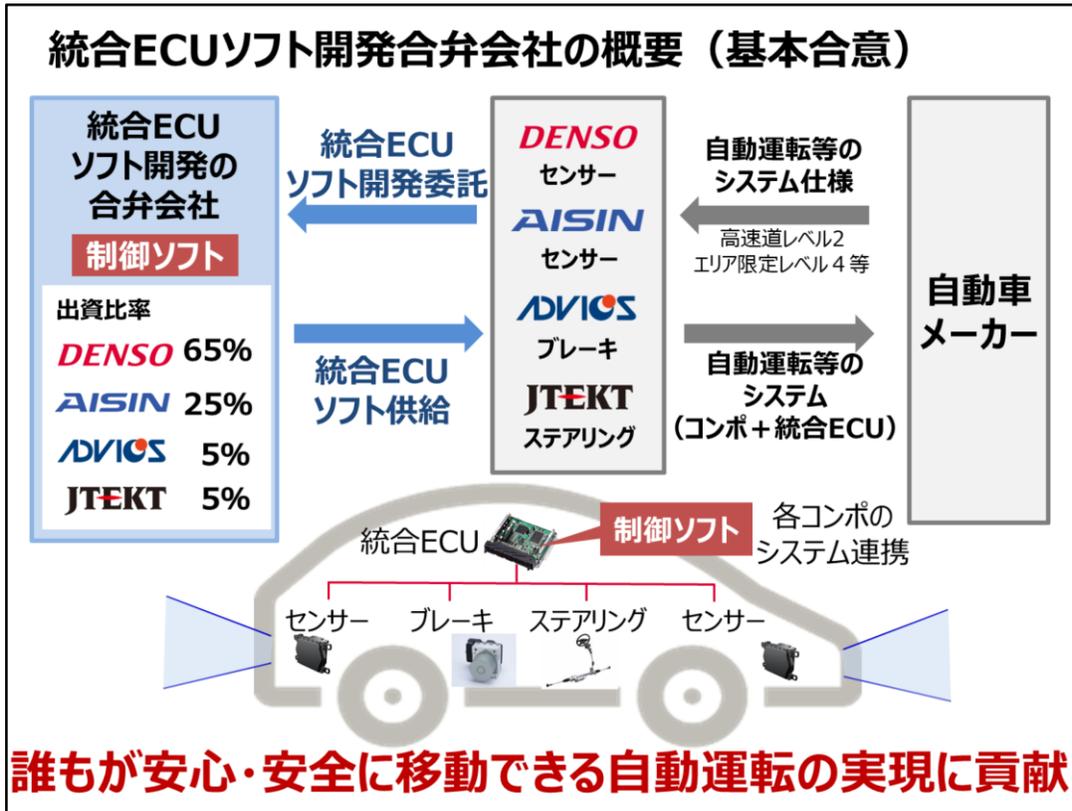
これを実現するのが、自動運転であり、自動運転を「普及」させることが、私たちの使命です。

自動運転の普及には、人の命を守る、極めて信頼性の高い商品の提供が必要不可欠です。

そのためには、クルマの「見る、走る、曲がる、止まる」に関わるセンサーやステアリング、ブレーキを、高度に組み合わせて「判断する」統合ECUが必要です。

そして、そのキーとなるのが、制御ソフトウェアです。

そこで、各社が持つ自動運転領域の知見を結集し、より信頼性の高い、統合ECUの制御ソフトウェアを開発するために、合併会社設立に向けた検討を開始することに、合意しました。



この合併会社の役割は、自動車メーカーからの仕様に基づき、4社からの開発委託を受けて、統合ECUの制御ソフトウェアを開発し、供給することです。

4社は、この制御ソフトウェアを載せた統合ECUと、各社が持つコンポーネントを組み合わせ、自動運転などのシステムを、自動車メーカーに販売します。

新会社の出資比率は、デンソー65%、アイシン25%、アドヴィックス5%、ジェイテクト5%、といたしました。

4社の強みを結集し、高度運転支援のレベル2から、完全自動運転のレベル4までを視野に入れ、誰もが安心・安全に移動できる自動運転の「普及」に貢献していきます。

電動化の課題

社会課題

地球温暖化
大気汚染
資源・エネルギー問題



持続可能な社会に
貢献するために

**電動化の
「普及」が必要**

従来（単品）

トランス
アクスル



モーター
ジェネレーター



インバーター



今後（駆動モジュール）

パッケージ



トランスアクスル

モータージェネレーター

インバーター

**2社の強みを結集した
駆動モジュールの開発・販売の合併会社**

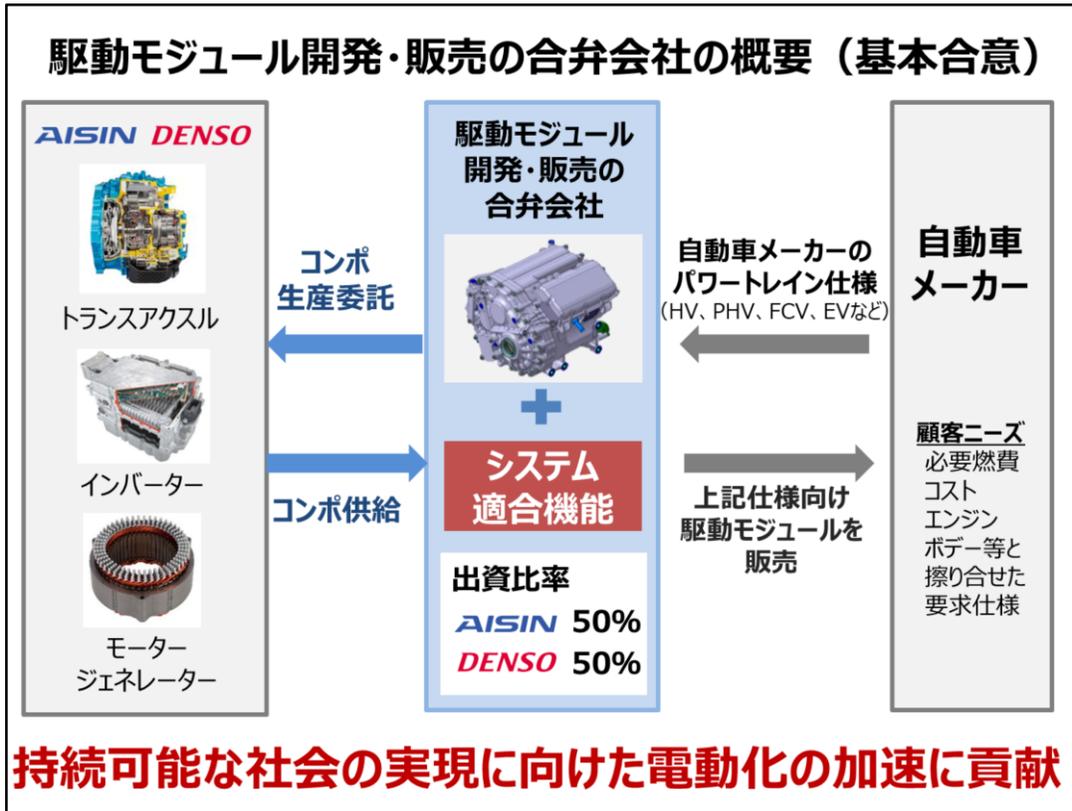
駆動モジュールの開発・販売の合併会社について、ご説明させていただきます。

本日、アイシン精機株式会社、株式会社デンソーは、
電動化のための、駆動モジュールの開発・販売の合併会社設立に向けた
検討を進めることに、合意しました。

私どもは、社会課題である地球温暖化、大気汚染、資源・エネルギー問題を解決し、
持続可能な社会の実現に貢献するため、
電動化を「普及」させることを目指して、技術開発に取り組んでまいりました。

これまで両社は、トランスアクスルやモーター、インバーターなど
電動化に必要なキーコンポーネントをそれぞれ開発してきました。
より多くの自動車メーカーへ採用いただき、電動化の普及を加速させるためには、
それらをパッケージとした駆動モジュールの提供が必要です。

そのため、アイシンとデンソーの強みを結集した、駆動モジュールの開発・販売の合併会社設
立に向けた検討を開始することに、合意しました。



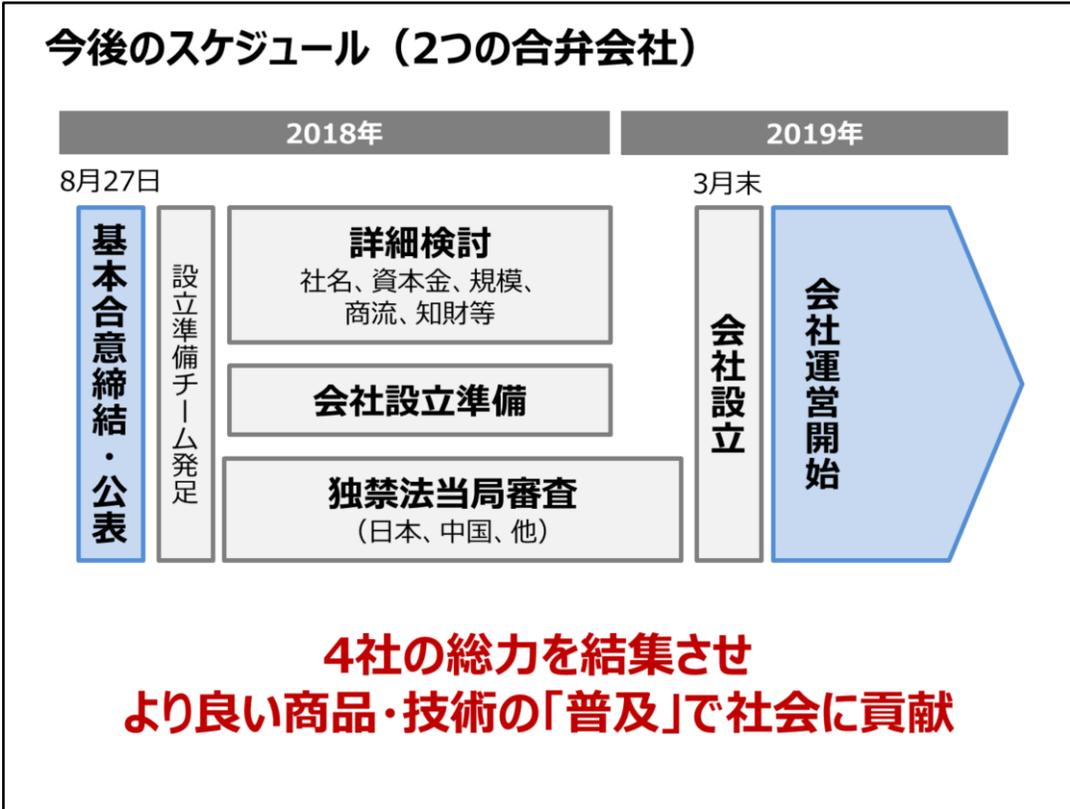
次に、駆動モジュールの開発・販売の合併会社について、ご説明させていただきます。

駆動モジュールの採用を加速させるためには、性能、コスト、地域事情に合わせた、様々な種類の駆動モジュールを開発、販売する必要があります。

今回の合併会社の役割は、HV・PHV・FCV・EVなど幅広い電動化ニーズに対応できる駆動モジュールの品揃えをすることです。そして、お客様のエンジン仕様に合わせて「システム適合」し、EV市場の急拡大が見込まれる中国をはじめ、世界各地域への「普及」を目指していきます。

また、新会社の出資比率は、アイシン50%、デンソー50%、といたしました。

両社の強みを掛けあわせた駆動モジュールの提案により、お客様の幅広いニーズに合わせた電動化を普及させることで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



最後に、今後の進め方について、説明させていただきます。

本日の基本合意を受けまして、今後協議をしながら、新会社の詳細を検討し、設立の準備に着手いたします。

並行して、日本や中国を始めとした、各国の当局の審査を受け、その承認が下りる事を前提に、2019年3月末に会社を設立し、4月から運営開始する予定です。

今回私たちは「勝つか負けるか」ではなく、「生きるか死ぬか」という危機感の中で、内向きではなく外と闘っていく体制を整えるべく、新たな一步を踏み出しました。

今後この二つの新会社は、「人間性の尊重」や「絶え間ない改善」といったトヨタグループの基本的な価値観を共有しつつ、より良い商品・技術の普及で、社会に貢献していきます。